

フラッシュ放流で河床をリフレッシュ ～高山ダム～

独立行政法人^{みずしげんきこう}水資源機構木津川ダム総合管理所の管理する^{たかやま}高山ダムでは、梅雨や台風に備えて水位を下げており、この水位低下の操作を利用して、本年も次のとおりダム下流の河川環境に配慮した放流（フラッシュ放流）を実施します。

- 1回目 平成25年4月23日（火） 午前9:30～午後12:30
- 2回目 平成25年5月23日（木） 午前9:30～午後12:30

今回の放流は、ダムから流下させる水を一時的に増やし、石などに付着した泥や藻類等を剥離させ、河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善をめざす取り組みです。

当日、ダム下流の河川では、ダムの放流により徐々に水位が上昇しますので、十分注意してください。

取材していただける場合は事前に問い合わせ先まで、また当日の状況写真を希望される場合も問い合わせ先までご連絡をお願いします。



平成25年4月18日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

学研都市記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

高山ダム管理所 所長 安部（あべ）

住 所：京都府相楽郡南山城村大字田山字ツルギ43

電 話：0743-94-0201

高山ダムにおけるダム下流河川環境に配慮した放流について

1. 目的

ダムからの放流による流水の増加によって攪乱を起こすことにより、石などに付着した泥や藻類等を剥離させ、河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善をめざす目的で、フラッシュ放流という取り組みを行っています。

高山ダムでは平成 14 年度より、洪水貯留準備水位に向けてダムの貯水位を低下させる期間を利用して、ダム下流の河川環境に配慮したフラッシュ放流を 1 年に 1～2 回程度（平成 14 年度以降 合計 12 回）実施しています。

また、フラッシュ放流に合わせて、下流河川の流れや水質等について調査し、今後のダム下流河川環境に配慮したダム管理を行うための基礎資料を収集します。

2. フラッシュ放流の概要

①現況

高山ダムでは、洪水期が始まる 6 月 16 日に向けて梅雨や台風に備えて洪水調節の容量を確保するため、洪水貯留準備水位まで、水位を低下させる予定となっております。

今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。

高山ダムの貯水位：4 月 18 日 9 時現在で標高 131.46m
(洪水貯留準備水位 標高 117.00m)

②実施予定日

【1回目】

日時：平成 25 年 4 月 23 日（火）9 時 30 分～12 時 30 分（最大放流量は 2 時間継続）

高山ダムからの最大放流量：毎秒約 40 立方メートル

放流する合計水量：約 252,000 立方メートル

【2回目】

日時：平成 25 年 5 月 23 日（木）9 時 30 分～12 時 30 分（最大放流量は 2 時間継続）

高山ダムからの最大放流量：毎秒約 40 立方メートル

放流する合計水量：約 252,000 立方メートル

※フラッシュ放流予定日前後の気象条件等によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

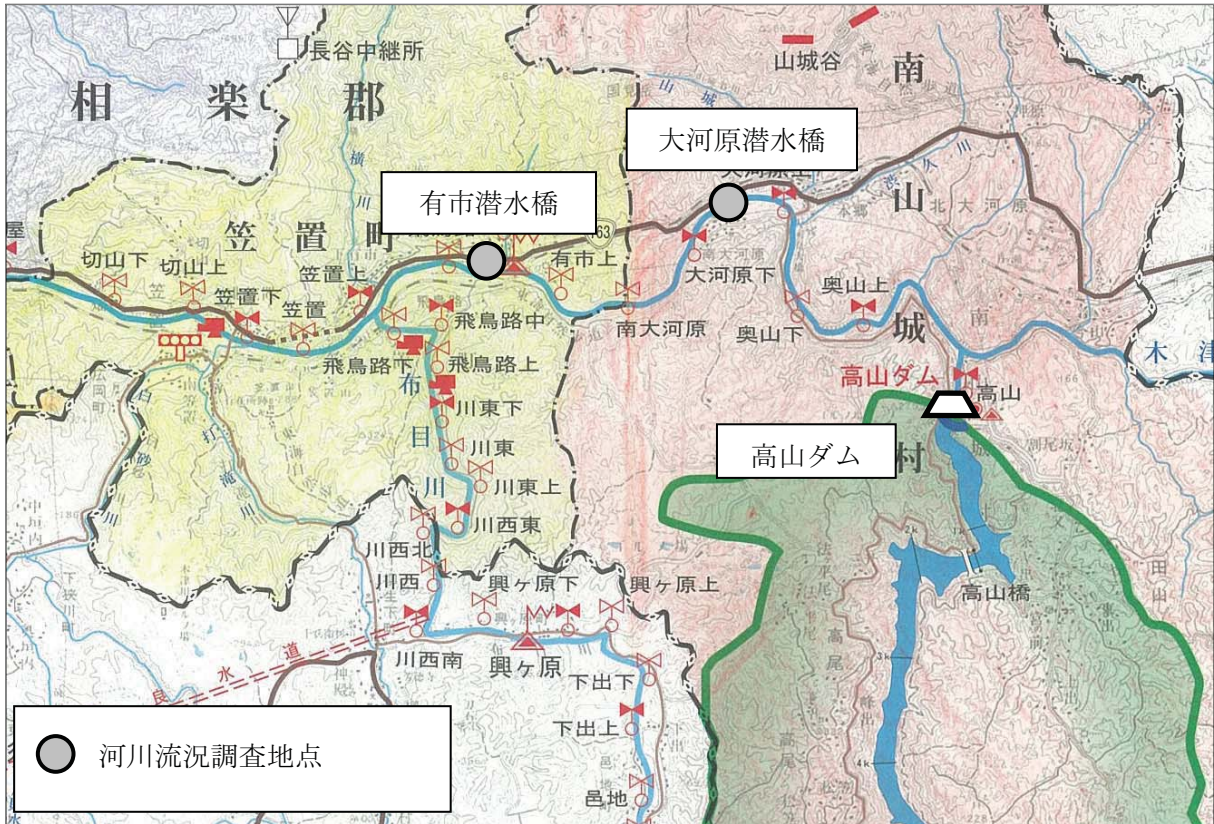
③調査項目

④に示す調査地点において、以下の項目を調査します。

(1) 河川流況調査（水位上昇量、濁度、水温、流況撮影）

④調査地点（下図参照）

- (1) ^{おおかわら}大河原 潜水橋 (2) ^{ありいち}有市潜水橋



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したもの（平18総復、第58号）を転載したものである。」

3. ダム下流河川の水位の上昇予測について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の木津川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので、注意してください。なお、フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 1) 大河原潜水橋地点：最大で約 30cm 上昇（10 時 30 分～12 時頃）
- 2) 有市潜水橋地点：最大で約 30cm 上昇（11 時～13 時頃）

4. 過去の放流前後の河床状況



● 過去の放流前後の河床状況（有市潜水橋地点） ●



石の表面は茶褐色で、細粒な物質（シルト・粘土や付着藻類）に覆われていました。



石の表面や河床の礫が明瞭に見られるようになりました。

● 過去の放流実施状況 ●



（下流より撮影）



（右岸より撮影）

高山ダム

最大約43m³/s
放流状況

H22.6.10撮影